

令和4年度 片倉三枚地域ケアプラザPDCAシート公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状

【神大寺地区】

人口 13,362人(2021/9現在)

[14歳以下 1,391人 65歳以上 3,600人 75歳以上 1,815人 高齢化率 26.9%]

戸建てと集合住宅が広がる、山坂が多い住宅地である。夏祭り・秋祭り・餅つき大会の開催や防災訓練など各町内会の活動は活発に行われている。高齢化率は3地区内で一番高く、また集合住宅が多くあり課題が見えにくい状況だが、高齢者のサロンが立ち上がるなど、身近な場所での支えあい活動が増えてきている。

14歳以下の人口も減り始め、子ども会も廃止している。子どものセーフティネットを作り上げるために、この地区にある3校の小学校と地域が共に子供の育成に向けて、新たに子どもの居場所づくり等の取組みも動き始めている。

【片倉】

人口 13,866人(2021/9現在)

[14歳以下 1,785人 65歳以上 2,999人 75歳以上 1,627人 高齢化率 21.6%]

ブルーラインの駅を中心に南北に伸びた農地や自然公園もある住宅地である。戸建てが多いが、集合住宅も数多く散在している。地域福祉保健計画の地区推進会議を年3回以上開催するなど、福祉活動への理解と行動がある地域で、ふれあい活動見守り、子どもの居場所などを熱心に行っている。少子化の中ではあるがここ数年で3ヶ所の保育園が設立する。集合住宅には、高齢者世帯や独居者の在住も多く課題抽出しにくい状況である。

【三枚】

人口 5,336人(2021/9現在)

[14歳以下 820人 65歳以上 990人 75歳以上 430人 高齢化率 18.5%]

農地や樹林地など、緑豊かな環境の地と住宅地である地域であり、上町エリアと下町エリアに分かれている。2町会は住民同士の繋がりに力を入れた取り組みが多く、グランドゴルフ、ボーリング、健康麻雀、食事会など、自治会やシニアクラブを中心にした活動が活発に行われている。また新駅開業頃より住宅地が増えるとともに子供の数も増えてきている。年少人口の増加に伴い子供会の活動も増えており、子どもを通じての繋がりが強い。高齢化率も神奈川区平均より低くここ数年維持している。

今後の方向性

3地区共に住民活動が活発な地域であり、また3地区が集まって地域課題に取り組むという体制も出来ていることから、今後も共に協力し合える関係性を築き、地域ケアプラザと3地区とで連携強化・情報共有し、地域課題に取り組んでいく。

コロナ禍の高齢者の老化進行(フレイル)や子どもの困窮など、「高齢者」「子供」を課題に挙げ、地域と双方向の情報交換をしながら展開していきたいと考える。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域特性を踏まえ地域ニーズに沿った健康講座を中心とした自主事業を年間7回程度開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の中で子育て支援拠点に毎月参加しケアプラザ広報紙の配布や講座等の周知し地域の身近な相談窓口として認識していただく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既に行っている地域には継続的に行えるように支援します。まだ行えていない地域に関しては、住民同士の支え合いの必要性に関して理解していただくような講座を開く。(年間1回開催予定)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3か月ごとに5職種で総合相談の情報を基に課題等を抽出し情報共有していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネジャーが民生委員などと連携がとれるように、ケア関係者向けの勉強会で民生委員や高齢者住宅にての見守り活動についての実際や地域の活動を紹介する機会を持つ。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

【各項目の振り返り】

- (1-6)コロナ禍も3年目となり高齢者のフレイル状態が目立ち始めてきています。健康づくりや交流といった視点を踏まえコロナ禍においても影響されにくい講座内容を検討し中止することなく開催できるよう工夫した。(ウォーキング・Zoom講座・笑いヨガ・バスハイク・体力測定・栄養講座・認知症予防講座など)神大寺地区では高齢化率も高くコロナにより高齢者が虚弱化している状況をより地域が感じており、地域からの要望もあって地区社協や民生委員と一緒に高齢者を対象に神大寺健康フェスを開催した。コロナ禍における行動規制も緩和されました。今一度、感染予防の必要を周知するために地域で開業されている感染症の専門医を講師にお呼びし、地域サロンの活動者向けに「新型コロナ感染予防アップデートセミナー」をZoom活用しハイブリッド型で開催した。
- (1-1)地域内の子育て支援拠点に向き、ケアプラザ広報紙や局の発行の「あなたの近くに！地域ケアプラザ」を配布し、積極的な周知活動を行いました。また、片倉地区で行われた「なかまる地域交流祭」では、ケアプラザブースを設け楽しく参加しやすいコーナーを作り、幅広い世代への周知を行いました。ブースには、六角橋中学校生徒8人をボランティアに迎え、中学生と一緒に活動しました。
- (1-3)町内会の班長会に向き、住民同士の支え合いや隣近所での助け合いに関する必要性を説明することが出来たが、講師をお招きし講座を開催するまでに至らなかった。
- (1-2)4月、8月と五職種会議にて相談月報作成システムの集計を用いデータ共有を行う。4月は令和3年度の相談を地域別で把握。8月は虐待のケースを町名、相談者のクロス集計をかけ詳しく分析行う。8月のデータと包括把握データを照らし合わせ12月共有予定。  
データを基にした課題の可視化には至っていない、具体的な課題抽出方法を決めておらず共有までに止まった。課題抽出方法検討する必要がある。
- (2-3)ケアマネサロンなどを通してざっくばらんに民生委員との連携などを話す機会はあったものの、勉強会と言う形では実施できていない。まずは、お互いの役割を理解するところから始める。

【全体を通して】

- このエリアの3地区(片倉三枚地域ケアプラザ担当エリア)同士の協力体制は年々強化してきている。昨年の包括レベル地域ケア会議内での課題や地福での課題を地域ごとの取り組みだけではなく、「3ポイントミーティングチーム」(3地区の代表者が集結)を活かしここでも問題を定義し取り組んでいる。ここに地域ケアプラザも参加することで大きく議題が膨らみ、より実現に向けて発信している。  
その中のひとつとして「移動支援」が挙がる。生活の中で車を必要としている方が非常に多い中、高齢者に対しても生活を支える大切な足となっている訳で、これを高齢者だからと、危ないからと言って運転免許を返納しろという話が少ない。自分の意思で返納した人もいれば、自分の意思を尊重されずに返納した人もいる。取り上げるだけでは何の解決にも至らず、この方々のその後の移動手段を確保しなければと、立ち上がったのがこの地域の人たちである。地域と共にケアプラザも出来ることはないかと考え、法人にも掛け合い送迎車の使用許可ももらったり、また国土交通省認定運転者養成講習を実施している団体と連絡を取ったりし、今年11月には地域と共催で移動支援活動の講習を実現に至っている。
- 3地区ともそれぞれが、地福推進会議(支え愛プラン)を開催できている。
- 「コロナ禍でも事業は止めない」、コロナ禍でのフレイル進行をなるべく防止できるように、どうすれば実施できるかを常に考え行動してきている。昨年度よりも事業を増やし、また地域の方からの声もあり休止していたものは再開。地域住民の声があがり新たに地域サロンが地域の資源として加わっている。
- コロナ禍から始めた「繋がる手段」としての「オンライン」。地域との協力で現在も継続しているzoom練習会。今年度を目的に終了する予定だが、民生委員の会議や講習会、今年度も実施したロバメイトフェスティバルでは「ハイブリット型」での開催することができた。ケアプラザ職員や地域の方々も力をつけてきているのを感じている。  
三枚町では住民がLINEを利用し情報を発信し始め、神大寺では住民がかんだいナビというHPを立ちあげ発信している。
- 行動規制が緩和されたところより、ケアプラザ内にとどまらず職員が地域に向く事業を多く実施し、顔の見える関係を構築し信頼関係をより築くことができたと感じる。それにより周知されまた相談件数も増加につながったと感じる。

□ 区からのコメント

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も依然としてありましたが、「コロナでも事業を止めない」と強い思いに立ち、工夫をしながら事業を進めた1年だったかと思えます。  
移動支援関係では、新たにNPO法人と連携して「福祉有償運送運転者養成講習」を実施し、今後の具体的な体制づくりに繋げています。  
認知症予防の取組では、チームオレンジ事業を上手く活用し、認知症カフェ「いろは茶屋」におけるクリスマス会の企画や、5回目(ZOOM参加2年目)となったロバメイトフェスティバルの開催など、多くの方に参加いただけるよう知恵を絞って考えている様子が見られました。また、開催当日にも多くのボランティアスタッフがいきいきと活動しており、活動の目的が浸透していることも分かりました。  
地域ケアプラザの場を生かした支援では、新型コロナの影響を受けながらも、ウォーキング、ZOOM講座、笑いヨガ、バスハイク、体力測定、栄養講座などを実施できたことが大きな成果だと思えます。また、受け持っている地区の中でも神大寺地区の高齢者に焦点を当て、地区社協、民生委員とともに神大寺健康フェスを開催できたことも意義深いことだと考えています。  
地域福祉保健計画の推進においては、支援チームに多くの地域情報を提供し、アセスメントにも積極的に参画されたことで、チーム内の共通理解につながっただけでなく、地域住民の主体的な動きにも良い影響を及ぼしています。  
今後も、地域のさまざまな課題に対し真摯に向き合い、柔軟な発想で取り組みを進めてもらいたいと考えています。よろしくお願ひします。

# 令和4年度横浜市片倉三枚地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 予防支援計画の委託に関しては、ご利用者の希望に沿って行い、特定の事業者には偏らないようにします。</li> <li>■ あらゆる対立する関係からの中立を保つよう心掛け、偏って支援することが無いように、職員研修等を通じて学んでいきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ リスクマネジメント活動を通じて、事故対策を行い、可能な限り、ルール化していく活動を行います。</li> <li>■ 個人情報を取り扱う場合はより慎重に行い、保管場所への施錠、送付する場合のダブルチェック体制などに努めます。</li> </ul>
実績	<p>予防支援計画の委託に関しては、利用者の希望に沿い、特定の事業者には偏らないようホームページなどを提示したうえでサービス事業所を選択してもらうなどし、偏って支援することがないように公正中立を保つよう努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事故発生時には、迅速に対応し事故が起きた原因・是正等を振り返り、職員会議で周知し再発防止に努めた。</li> <li>■ 個人情報は鍵付き書庫・専用保管室に保管、送付時はダブルチェック体制などに努めた。年1回の研修を実施。</li> </ul>

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生活支援コーディネーター及び地域活動交流コーディネーターと情報共有や協力体制が出来ている。</li> <li>■ 利用者本人自らが計画作成に参画して、利用者本人が納得した計画を作成することが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関連機関と連携し、包括的継続的ケアマネジメントが実践できるようになる。</li> <li>■ 住み慣れた地域で本人が望む生活が実現できるよう、個々のACPを実践できるようになる。</li> </ul>
利用料金・実費負担	<p>原則として本人負担はありません。 保険料未納等がある場合は下記額の1～3割が自己負担となります。 要支援1・2 4,870円</p>	<p>原則として本人負担はありません。 保険料未納等がある場合は下記額の1～3割が自己負担となります。 要介護1・2 11,965円 要介護3～5 15,545円</p>
職員体制	<p>看護師1名、社会福祉士2名、介護支援専門員1名 計4名(2023. 3. 31現在)</p>	<p>管理者(兼務)1名 常勤2名 非常勤2名 計5名</p>
契約者数	<p>2022年度3月末 要支者援契数(287件)</p>	<p>2022年度3月末 要介護者契約者数(120件)</p>

### 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	新型コロナウイルスの感染予防をしながら「出来る事」の継続、「やりたい事」が増やせ、在宅生活が維持できるような、生活を意識した生活支援を行います。	新型コロナウイルスの感染予防をしながら「自分のやりたい事」、「自分で決める自分の事を」をスローガンに、地域生活の継続を援助します。	実施していません
実施体制	【実施日数】 週6日(月～土) 第1号・介護予防は週5日(月～金) 【提供時間】 9:30～16:30 第1号・介護予防は9:30～13:30 【定員】 通所 38名	【実施日数】 週6日(月～土) 【提供時間】 9:30～16:30 【定員】 12名	
利用料金・実費負担	介護報酬告示上の額 実費分 食費810円/個別活動費 実費	介護報酬告示上の額 実費分 食費810円/個別活動費 実費	
職員体制	管理者1名/生活相談員2名 介護職員10名/看護師4名 送迎運転手10名	管理者1名/生活相談員2名 介護職員10名/看護師4名 送迎運転手10名	
契約者数等	【延べ利用者数】 7,080名 【契約者数】 72名	【延べ利用者数】 1,315名 【契約者数】 10名	

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期
1	健康ひろば(介護予防講座)	R2	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者を対象に介護予防に関する知識の普及・啓発を図り高齢者が自ら日常生活で取り組みを実践する方法を周知する。	1:高齢者	1:高齢者	6月17日:神大寺神北会シニアクラブ(体力測定) 8月29日:グリーンピア片倉(栄養講座) 10月31日:たいまる保健室健康講座(フレイル予防) 3月8日:ふれあいサロンの神大寺(栄養講座) 3月20日:片倉三枚地域ケアプラザ(体力測定)
2	ウォーキングで体カづくり	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において感染が拡大すると室内プログラムは中止せざる可能性が高くなる。そのため屋外で取り組める健康講座を開催し高齢者の健康の維持・増進を図る。	1:高齢者	5:地域	4月4日:三溪園(桜) 6月24日:八景島(アジサイ) 2月21日:大倉山公園(梅)
3	地域の歴史を知ろう(オンライン講座)	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	郷土愛をはぐくむ機会を作りながら主に高齢者がZoomを活用する機会を提供する。また暑い時期は外出を避ける傾向にあるため8月に開催し自宅からでも気軽に参加できる環境を整える。コロナ禍において感染が拡大しても開催できる方法での講座とする。	1:高齢者	5:地域	3回/1回コースで開催する。 8月6日:浦島太郎伝説 8月20日:神大寺と杉山神社 8月27日:神奈川狛師町と神奈川台場
4	地域のケアマネジャー向け事例検討会	R2	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域で活動するケアマネジャーがそれぞれの抱える事例の課題を共有し意見交換することで、個々のケアマネジャーの課題解決力、ケース対応力を高める。	6:事業者	6:事業者	・ケアプラザ協力医、神奈川区医療連携拠点と地域のケアマネジャーによる事例検討会。(年1回) ・居宅支援事業所との共催による事例検討会(年1回)
5	市民公開講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザ協力医による、市民向け講座を行う。医療連携拠点と共催にて行う。今年度はACPを医療と仏教の両面から考えるをテーマに行う。	1:高齢者	5:地域	医療と仏教それぞれの視点から自らの人生の最終段階を考える講座を開催。講師は医療分野が協力医の赤羽先生、仏教ははなごみ庵住職の浦上哲也さんをお迎えし開催する。
6	医療相談会	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	まちの保健室として地域ケアプラザで行っている市民向けの医療相談会を個別の相談会とは別に行う。	5:地域	6:地域	季節に合わせたミニ講座と協力医を困った座談会形式。年3回開催
7	高齢者住宅ヒルズ神大寺おもしろやり会	H28	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場をつくり、ミニ講座開催や身近なテーマで話し合う場を設け様々な情報を提供し、自立した生活を支援していく。自助・互助の力を養う場。	1:高齢者	1:高齢者	毎月第4木曜日 14:00～15:30 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。
8	高齢者住宅グリーンピア片倉交流会	H28	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場をつくり、身近なテーマで話し合う場を設け、近隣の助け合いを構築する。民生委員や地域の専門機関と連携を図り、地域社会との関わりを増やす。	1:高齢者	1:高齢者	毎月第3月曜日 10:30～12:00 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。
9	地域のZOOM練習会	令和2年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において必要性が高まっているオンラインの活用普及のために、地域の方向けにZOOM練習会を開催する。	5:地域		2022年4月～2022年12月 10:00～11:00 月2回程度
10	折り紙サロン	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域に暮らす高齢者を対象とした見守りや仲間づくりを目的とする。また、手先を使った作業を通じて、搜索の楽しさや気分転換の機会を提供する。	5:地域		毎月第2・3木曜日 14:00～15:30 季節のものや、キャラクターの折り紙のお題を決め、参加者同士で楽しむ。高齢者の気軽なケアプラザ利用のきっかけとなる講座。
11	ティールームもくせい	平成15年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域作業「もくせい」の協力を得て、パンやクッキーの販売場所を提供する。地域の方が気軽に外出し、地域作業所に従事する障がい者と地域住民の交流の場とする。	5:地域		毎月第4火曜日13:00～14:00 多目的ホールを会場とし、地域作業所「もくせい」が提供するパン屋やクッキーの販売。「アトリエもくせい」で作られたさきり織りの商品も販売・展示する。コロナウイルスの影響により、喫茶コーナーを中止し、エントランスにてパンと商品の販売のみとする。

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	--	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
12	いろいろ茶屋	平成30年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症カフェとして認知症高齢者の居場所づくり、介護者の気分転換、地域への認知症啓発の他、認知症サポーターの活動の場や、事業所と地域のネットワークづくりを進めていく	5：地域	5：地域	毎月第2土曜日 13:00～14:00 当事者の出向きの場や交流の場とした取組。認知症サポーターの活躍の場であり、同行支援や移動支援、傾聴を行っている。開催時間中は、包括職員が常駐し、総合相談に対応している。
13	介護者のつどい	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護している方、気軽に乗る居場所を提供する。講座を設け、介護に必要な情報を得る場を作る。講座後に茶話会を実施し、互いの情報交換の場、語り合う場を作る。	5：地域	5：地域	4月より基本隔月第4土曜日に実施。開催時間は1時間。ニーズに応じ講座を設ける。実施方法はZOOM開催、実際に集まったの開催を行う。
14	司法書士の無料相談会	平成23年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。相談者が抱える問題の解決につなげられる。	5：地域	6：事業者	司法書士による1組30分の無料相談を行う 主催：神奈川県包括支援センター連絡会 神奈川県社会福祉協議会
15	行政書士の無料相談会	平成23年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。相談者が抱える問題の解決につなげられる。	5：地域	6：事業者	行政書士による1組30分の無料相談を行う 主催：神奈川県包括支援センター連絡会 神奈川県社会福祉協議会
16	エンディングノート啓発事業	平成31年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	神奈川県版エンディングノートの完成に伴い、社会福祉連絡会が啓発を実施していく自らの権利を守るために備えが必要であり、大切であることを伝え、その支援をする。	5：地域	5：地域	ライフデザインノートの項目に応じた講座に抱き合わせた形でライフデザインノートの説明を行う。実施方法はZOOM開催若しくは、実際に集まったの開催を行う。年間1、2回開催予定
17	認知症サポーター養成講座	平成19年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	参加者が認知症に対して正しい知識と具体的な対応方法について学ぶ事で地域出認知症の人とその家族を暖かく見守り、出来る範囲で支援出来るよう支援行っていく。既にサポーター登録登録している方のスキルアップを目的とする。	5：地域	5：地域	地域のニーズに応じて、または、企画して講座を実施。地域のキャラバンメイトと協力して講座を行っていく。 (認知症の講話・寸劇・映画上映・認知症サポーターについての説明等)
18	権利擁護関係の講座、勉強会	R4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	前年度成年後見制度についての講座を行った。今年度は成年後見制度に絞らず、権利擁護に関する制度の講座や勉強会を行う。地域の声や地域の状況に応じ、生活困窮、虐待についての講座、勉強会を民生委員や事業所向けに開催する予定。	5：地域	5：地域	権利擁護に関する制度講座、勉強会を行う。年間2回実施、6月、11月開催予定。
19	ロバメイトフェスティバル	平成32年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	・「認知症にやさしい地域づくり」のために、広く地域に向けて認知症の啓発を行う。 ・今年度新たに実行委員会が発足、運営委員主体のロバメイトフェスティバル開催を目指す。	5：地域	5：地域	実行委員会の話し合いに参加し運営委員会が主体となり活動できるよう支援を行う。 9月17日実施 ・認知症クイズコーナー ・見守り協力店スタンプラリー ・認知症を知る時間(会場＋オンライン)
20	かなプラ子育て応援タイム	平成21年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	乳幼児とその親向け。育児中のちょっとした休憩の機会とする。集まった親子がお互い交流し、悩みや不安を話し合い仲間づくりをしていただく。	3：養育者及び乳幼児	7：その他	年3回実施。音楽会、体をつかった親子遊び、絵本読み聞かせとクリスマス会。子育てのヒントとなる遊びを提供したり、普段はできない体験の機会をつくる。
21	室内健康づくり	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	片倉地区保健活動推進員の活動支援。地域住民の健康づくりへの意識を高めて頂く。	5：地域		7月20日(水)実施予定。スポーツ指導員を講師に招いて、自宅でもできる運動不足・肩こりや腰痛解消のストレッチ運動を行う。また、保健活動推進員が、機器を使って圧力、血圧、血流測定を行う。
22	新型コロナ感染予防アップデートセミナー	令和4年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	コロナ禍における行動制限が社会的に緩和されてきたが感染予防に関しても気の緩みも見受けられるため、地域活動者向けに現状におけるのコロナの感染予防の方法を正しく知り地域活動に役立つ情報提供を行う。	5：地域		エリア内で開業されている感染症の専門医で横浜かんだいじファミリークリニックの河野真二医師を講師に招き講義を行う。

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	--	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
23	神大寺健康フェス	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍となり虚弱化が進んでいる高齢者が自分自身の体力を知り体力づくりの意識付けができる。(神大寺地区社協より高齢者の健康づくりのきっかけとなるイベントを開催したいとの相談が当地域包括支援センターにもあったため。)	1:高齢者	5:地域	神大寺地区センターで開催する。 * 体力測定 * 神大寺地区保健活動推進員による健康チェック * 管理栄養士による栄養講話 * 神奈川区薬剤師会の薬剤師によるお薬相談 * 見守りキーフォルダー登録会 * かなっば畑の会による野菜販売
24	歩いて楽しむ「かながわの歴史」～浦島太郎伝説～	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍においてもできる体力づくりや出向きの場をウォーキングを通して行うことができる。	5:地域		8月にZOOMで実施した歴史講座「浦島太郎伝説」の講座内容の史跡をNPO法人神奈川区いまむかしガイドの会のガイド付きでウォーキングを行う。
25	みんなで楽しく認知症予防～明るく・頭を使って・あきらめない～	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	2019年のJAGESの結果から当エリアは認知症のリスクが高いためスリーA(明るく・頭を使って・あきらめない)にて認知症予防に取り組むことができる。	1:高齢者		NPO法人スリーAよこはまかたつむりの会より講師をお呼びしてスリーAとはなんとかと知ると共にスリーAを実践しながら認知症予防を行う。
26	押し花でフォトスタンドを作ろう	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	手先を動かしながら脳の活性化ができ他者と交流をは図ることができる。	5:地域		押し花講師をお呼びし押し花を使用して干支(卯)のフォトスタンドを作成する。
27	キャラバンメイト連絡会	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリア内のキャラバンメイト同士で顔の見える関係づくりができ地域における認知症に関する課題を共有し課題に向けた解決策を検討することができる。	5:地域		1月31日13:30～15:00 連絡会において地域課題を共有しキャラバンメイトとして今後どのような活動に取り組んで行くかを話し合う。
28	三枚地区民生委員との交流会	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	日頃の民生委員さんの活動で苦慮されていることや地域課題を共有しながら情報共有ができる。	5:地域		3月8日14:30～16:00 * 自己紹介 * 地域ケアプラザとは * 地域包括支援センターとは * 地域活動における情報交換 * 見守りのポイントについて
29	新型コロナウイルス2022年最新情報	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民が感染症対策についての正確な知識を持ち、地域活動を再開・継続していただくために必要な情報提供を行う。	5:地域		ケアプラザ協力医赤羽先生による講演。神大寺地区社協への出向き講座を8/24、ケアプラザでの広く参加者を募る形で講座は9/7に行なった。
30	初心者大歓迎ZOOM練習会	R4	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	オンラインの講座や集いの場が増え、参加したいがやり方が分からなく参加を断念する機会が増えた方に対し、住民同士の繋がりを絶やさないことを目的とする。	1:高齢者	5:地域	4/6 10:00～11:00 ご自身のデバイスを持参していただき、ZOOMの楽しさを知っていただく。
31	デジ活デビュー講座(夏期講習編)	R4	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	高齢者が所持する携帯電話もこの数年で、スマートフォンに移行され、使いこなしたいとの声により企画された。デジタルに少しでも慣れていただくことを目的とする。	1:高齢者	5:地域	7/26、8/2、8/9の3回コース 一日目:オンラインって何? 二日目:ZOOMを体験してみよう 三日目:スキルアップ
32	地域のZOOM練習会スキルアップ講座～ホストに挑戦してみよう～	R4	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域のZOOM練習会でホスト役になっていただく方を募ることを目的とする。	1:高齢者	5:地域	8/24 11:00～12:00 ご自身のデバイスを持参していただき、ホスト役を経験していただく 少人数制
33	カエルさんの遠足	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽に触れ、コロナ禍での交流のきっかけをつくるため。	4:子ども・青少年		6月1日実施。9か月から2歳の子供が母親と参加し、自分がカエルになってトイピアノの伴奏に合わせて歌いながら歩く。

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
34	夏休み宿題応援企画 陶芸体験で絵皿を作ろう	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子供支援事業の一環。夏休みに苦戦する宿題への手助けとなるため。	4:子ども・青少年		7月25日と8月15日に実施。午前の部と午後の部に分けて行い、形作りと絵付けを2日間に渡って作業をしていただいた。窯で焼く作業はボランティアさんをお願いした。
35	いろばた茶屋 かたから店	R4	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症カフェとして認知症高齢者の居場所づくり、介護者の気分転換、地域への認知症啓発の他、認知症サポーターの活動の場や、事業所と地域のネットワークづくりを進めていく	5:地域	1:高齢者	毎月第1木曜日 10:30～12:00 当事者の出向きの場や交流の場とした取組。認知症サポーターの活躍の場であり、同行支援や傾聴を行っている。
36	～よこはま漫遊記～ 秋の味覚狩り&横浜市庁舎見学	R4	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	長期に渡る自粛生活のため、外出することへの抵抗感が増し、閉じこもることが多くなった高齢者に対しての外出を目的。高齢者同士の仲間づくりと生き甲斐づくり。	1:高齢者	1:高齢者	8/31実施(マイクロバス移動) 芝公園実園での味覚狩り 横浜市庁舎見学
37	子育てはじめての一步&体を使った遊び	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	父親育児に関する講座を講師から聞くことで、父親の育児啓発につなげる。地域の父親同士の交流。	3:養育者及び乳幼児	7:その他	はじめての子育てに役立つ情報講座に加えて、体を使った遊び。
38	ぞうきんボランティア	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の学校の困りごとと地域のボランティア活動をつなげる。	5:地域		地域の学校から掃除用の布を募集している事を聞き、縫い物が得意なボランティアさんを募って雑巾を縫ってもらう。
39	冬休み宿題応援企画 『ケアプラザでお習字をやろう!』	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子供支援事業として、助っ人BANKに登録されている講師をお招きし、地域の小学生の冬休みの宿題をお手伝いをする。ボランティアと地域のニーズを繋ぐ。	4:子ども・青少年	5:地域	12/26多目的ホールにて開催。 地域の小学生が宿題として出されるお習字をお手伝いする企画。
40	なかまる地域交流祭出店	平成30年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍で薄くなった中丸小学校区域の自治会・町内会やその周辺エリアの団体などとのつながりの強化に向けての地域支援。 地域住民向けにケアプラザが、身近な福祉・保健の相談窓口としての周知活動。	5:地域	5:地域	11月5日 12:00～16:00 小さな子どもから高齢者まで、気軽に参加出来るゲームの実施。 ケアプラザに関する広報紙の設置。
41	暮らし応援事業(食支援)	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	生活困窮者への支援事業 エリア内の生活困窮者やその支援者と事業を通じて繋がり、困りごとなどの声を出しやすい環境を作る。	5:地域	5:地域	11月4日 10:00～11:00 フードバンクかながわより受けた食材を生活困窮者に配布する。
42	国土交通省認定 福祉有償運送運転者養成講習及びセダン等運転者養成講座	令和4年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	高齢者になっても車がなくても、いつでも住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域の移動支援を実施する目的とした養成講座	5:地域	5:地域	11月27日 9:00～17:00 かながわ移動支援ネットワーク講師依頼し、福祉の座学と福祉車用の運転基礎を学ぶ講座
43	3ポイントミーティング	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザエリア内の3地区の地区社協会長及び地区社協役員と地域の福祉・保健の課題を見つけ、その解決の支援。	5:地域	5:地域	実施日 4/14、5/19、6/30、7/28、9/8、11/9、11/15、12/5、3/2
44	「99歳母と暮らせば」上映会 (区事業企画・ケアプラザ共催事業)	R4	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症普及啓発、地域の中に、認知症への理解者を増やす。 人生100年時代、介護する人もされる人も、共に暮らせる地域を目指す。	5:地域	5:地域	3/29 映画上映+監督トークショー ①10:00～12:00 ②12:30～14:30 ③15:30～17:30



<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
45	介護者のつどい「頑張らずに介護」	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護をされる方のストレス軽減を目的に無理のない介護を行うための講演会を開催	1:高齢者	5:地域	3/17 10:30～12:00 介護者のつどい特別企画として講演会開催 グループホーム横浜ゆうゆう施設長の講演会を行う
46	好評につき行政書士無料相談会	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。相談者が抱える問題の解決につなげられる。	1:高齢者	5:地域	2/22 13:00～15:00
47	成年後見制度について勉強会	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民向けに成年後見制度について説明する地域に向く形で開催	1:高齢者	5:地域	12/19 グリンピア片倉 12/22 べちゃくちや亭 1/26 ヒルズ神大寺 2/8 ふれあいサロン神大寺
48	高齢者の安全運転と免許更新/詐欺被害防止を考えよう	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	神奈川県警察交通課・生活安全課に講師依頼をし、①安全運転②免許更新③詐欺被害防止の情報をお話し頂く。地域住民と共に支援者にも参加して頂き、地域情報を共に共有する。	5:地域	5:地域	6/29ケアプラザ多目的ホールにて実施。 詐欺の実際の手口や運転免許の様々な選択肢がある事を改めて周知することが出来、安全への意識が高まった。
49	生活保護・生活困窮自立支援制度勉強会	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	生活支援課の係長に講師依頼をし、①区的生活保護数相談件数の現状②生活保護制度③生活困窮者自立支援法の講義をしてもらう。民生委員とCMIに参加いただき、理解を深め、適切な箇所へ相談をつなぐことを共有する	5:地域	5:地域	5/31ケアプラザ多目的ホールにて実施 参加者が熱心に聞いていた様子で質問も多く出ていた。

令和4年度「片倉三枚地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,403,761	205,000	17,608,761	17,608,761	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	1,100	△ 1,100	
横浜市による運営支援		840,000	840,000	0	840,000	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	90,000	0	90,000	67,248	22,752	
印刷代	30,000		30,000	11,740	18,260	
自動販売機手数料	60,000		60,000	55,508	4,492	
その他			0	0	0	
その他	3,265,863	0	3,265,863	0	3,265,863	
収入合計	20,759,624	1,045,000	21,804,624	17,677,109	4,127,515	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,390,000	0	11,390,000	6,968,987	4,421,013	
本俸	7,300,000		7,300,000	4,693,311	2,606,689	
社会保険料	1,200,000		1,200,000	433,202	766,798	
手当計	2,700,000		2,700,000	1,744,899	955,101	
健康診断費	40,000		40,000	35,097	4,903	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他	150,000		150,000	62,478	87,522	
事務費	1,161,624	0	1,161,624	921,602	240,022	
旅費	20,000		20,000	10,248	9,752	
消耗品費	320,000		320,000	213,996	106,004	
会議謝り費	10,000		10,000	18,150	△ 8,150	
印刷製本費	230,000		230,000	156,092	73,908	
通信費	250,000		250,000	208,528	41,472	
使用料及び賃借料	21,000	0	21,000	21,120	△ 120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,000		21,000	21,120	△ 120	
その他			0	0	0	
備品購入費	70,000		70,000	0	70,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	10,000		10,000	544	9,456	
振込手数料			0	0	0	
リース料	100,000		100,000	81,570	18,430	
手数料	80,000		80,000	24,024	55,976	
地域協力費			0	0	0	
その他	50,624		50,624	187,330	△ 136,706	
事業費	304,000	0	304,000	14,646	289,354	
運営協議会経費	40,000		40,000	0	40,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000	14,646	249,354	
その他			0	0	0	
I C T整備費（追加）	0	200,000	200,000	235,840	△ 35,840	
I C T整備費（追加）	0	200,000	200,000	235,840	△ 35,840	
サニタリーボックス（追加）	0	5,000	5,000	2,773	2,227	
サニタリーボックス	0	5,000	5,000	2,773	2,227	
管理費	6,430,000	840,000	7,270,000	7,867,505	△ 597,505	
光熱水費	3,700,000	840,000	4,540,000		4,540,000	
清掃費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
機械警備費	300,000		300,000		300,000	
設備保全費	930,000	0	930,000	0	930,000	
空調衛生設備保守	400,000		400,000		400,000	
消防設備保守	50,000		50,000		50,000	
電気設備保守	50,000		50,000		50,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	400,000		400,000		400,000	
共益費			0		0	
その他			0	7,867,505	△ 7,867,505	
修繕費	474,000		474,000	183,360	290,640	
公租公課	1,000,000	0	1,000,000	981,189	18,811	
事業所税			0		0	
消費税	1,000,000		1,000,000	981,189	18,811	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	20,759,624	1,045,000	21,804,624	17,175,902	4,628,722	
差引	0	0	0	501,207	△ 501,207	

自主事業費 収入	0	0	0	1,100	△ 1,100	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	14,646	249,354	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	△ 13,546	△ 250,454	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	60,000	0	60,000	55,508	4,492	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,000	0	21,000	21,120	△ 120	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	39,000	0	39,000	34,388	4,612	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「片倉三枚地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料【包括】</b>	<b>29,671,238</b>	<b>0</b>	<b>29,671,238</b>	<b>29,671,238</b>	<b>0</b>	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	20,000	0	20,000	12,900	7,100	説明欄は、主な用途などを必要に応じて記入してください。（現在入力してある文字等の削除も可）
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000	0	50,000	137,700	△ 87,700	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
雑入	2,772,500	0	2,772,500	4,500	2,768,000	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	2,772,500	0	2,772,500	4,500	2,768,000	
<b>収入合計</b>	<b>38,469,738</b>	<b>0</b>	<b>38,469,738</b>	<b>35,782,338</b>	<b>2,687,400</b>	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>33,625,000</b>	<b>0</b>	<b>33,625,000</b>	<b>31,346,981</b>	<b>2,278,019</b>	
本俸	18,000,000	0	18,000,000	12,793,900	5,206,100	
社会保険料	5,000,000	0	5,000,000	4,166,093	833,907	
手当計	10,000,000	0	10,000,000	13,852,169	△ 3,852,169	
健康診断費	25,000	0	25,000	23,387	1,613	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
その他	600,000	0	600,000	511,432	88,568	
<b>事務費</b>	<b>1,519,738</b>	<b>0</b>	<b>1,519,738</b>	<b>1,098,606</b>	<b>421,132</b>	
旅費	120,000	0	120,000	118,521	1,479	
消耗品費	350,000	0	350,000	246,611	103,389	
会議贈い費	10,000	0	10,000	0	10,000	
印刷製本費	230,000	0	230,000	165,704	64,296	
通信費	250,000	0	250,000	197,298	52,702	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	150,000	0	150,000	0	150,000	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	20,000	0	20,000	4,832	15,168	
振込手数料	5,000	0	5,000	0	5,000	
リース料	80,000	0	80,000	24,150	55,850	
手数料	100,000	0	100,000	24,024	75,976	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	204,738	0	204,738	317,466	△ 112,728	
<b>事業費</b>	<b>1,390,000</b>	<b>0</b>	<b>1,390,000</b>	<b>1,295,729</b>	<b>94,271</b>	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	300,000	0	300,000	121,907	178,093	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000	0	151,000	152,870	△ 1,870	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000	0	309,000	234,629	74,371	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	282,323	△ 282,323	
その他	0	0	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>1,735,000</b>	<b>0</b>	<b>1,735,000</b>	<b>2,091,356</b>	<b>△ 356,356</b>	
光熱水費	950,000	0	950,000	0	950,000	
清掃費	400,000	0	400,000	0	400,000	
機械警備費	80,000	0	80,000	0	80,000	
設備保全費	305,000	0	305,000	0	305,000	
空調衛生設備保守	100,000	0	100,000	0	100,000	
消防設備保守	20,000	0	20,000	0	20,000	
電気設備保守	20,000	0	20,000	0	20,000	
害虫駆除清掃保守	15,000	0	15,000	0	15,000	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	150,000	0	150,000	0	150,000	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	2,091,356	△ 2,091,356	
<b>修繕費</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	<b>200,000</b>	<b>48,740</b>	<b>151,260</b>	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
<b>その他</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>38,469,738</b>	<b>0</b>	<b>38,469,738</b>	<b>35,881,412</b>	<b>2,588,326</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 99,074</b>	<b>99,074</b>	

自主事業費 収入	70,000	0	70,000	150,600	△ 80,600	
自主事業費 支出	760,000	0	760,000	791,729	△ 31,729	
自主事業 収支	△ 690,000	0	△ 690,000	△ 641,129	△ 48,871	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市片倉三枚地域ケア

R5年4月1日～ R6年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	16,000	15,378	622	24,000	23,058	942	95,000	73,662	21,338	4,600	3,647	953	22,000	22,787	-787
	その他	0	0	0	0	6	-6	0	265	-265	0	0	0	0	48	-48
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	6	-6	0	265	-265	0	0	0	0	48	-48
	<b>収入合計(A)</b>	16,000	15,378	622	24,000	23,064	936	95,000	73,927	21,073	4,600	3,647	953	22,000	22,835	-835
支出	人件費	4,000	3,850	150	20,000	18,972	1,028	84,000	53,188	30,812	0	0	0	0	9,506	-9,506
	事務費	500		500	1,000	2,489	-1,489	16,000	13,901	2,099	0	0	0	0	3,647	-3,647
	事業費	0	0	0	300	295	5	11,000	8,717	2,283	0	0	0	0	1,661	-1,661
	管理費	500		500	1,000	863	137	7,000	2,889	4,111	0	0	0	0	714	-714
	その他	10,000	9,720	280	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	10,000	9,720	280	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	<b>支出合計(B)</b>	15,000	13,570	1,430	22,300	22,619	-319	118,000	78,695	39,305	0	0	0	0	15,528	-15,528
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>1,000</b>	<b>1,808</b>	<b>-808</b>	<b>1,700</b>	<b>445</b>	<b>1,255</b>	<b>-23,000</b>	<b>-4,768</b>	<b>-18,232</b>	<b>4,600</b>	<b>3,647</b>	<b>953</b>	<b>22,000</b>	<b>7,307</b>	<b>14,693</b>